

【令和５年度】協働事業に関する調査

No.	協働事業実施者			協働事業の概要				協働事業の実績	協働事業の評価	協働事業の今後の取組	
	部署名	相手方	種類	形態	事業名	目的	事業概要	実績・効果・参加者数等	相手方の意見・評価	課題	取組
1	危機管理防災課	自主防災組織	市民団体	補助	ふじみ野市自主防災組織補助金	災害に強いまちづくりを推進するため、地域住民が自主的な防災活動を行うために設立した防災組織の育成を図ることを目的として、自主防災組織に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。	(1) 自主防災組織結成支援事業 新たに結成し活動する自主防災組織に対し、２０万円を支給する。 (2) 自主防災組織活動支援事業 地区防災計画の策定及び見直しに伴う防災訓練、災害図上訓練、講習会等を実施する自主防災組織に対し、３万円を支給する。 (3) 防災資機材整備支援事業 不足する防災用資機材の整備拡充を図る自主防災組織に対し、１０万円を支給する。 (4) 地区防災計画策定事業 地区防災計画の策定又は見直しをする自主防災組織に対し、１０万円を支給する。	【防災資機材整備支援事業】 31件（3,038,000円）		「(3) 防災資機材整備支援事業」は、申請が31件にとどまっている理由として、資機材の充足率が高まってきていることが挙げられる。一方、保管する倉庫のキャパシティの限度に達しているという課題がある。 「(4) 地区防災計画策定事業」の申請がなかったため、計画策定をしていない自主防災組織に働きかけを行っていく必要がある。	自主防災組織の強化のため、活用しやすい制度とするため、制度内容の改正を行い、防災資機材整備の支援や地区防災計画の策定支援などを継続的にやっていく。
2	協働推進課	自治組織	市民団体	補助	ふじみ野市自治組織補助金	良好な地域社会を形成し、地域で支え合う社会の維持発展に資するため、自治組織に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。	市内５８の自治組織の運営に係る費用、事業実施に係る費用、集会所の光熱水費などに対して、補助金を交付した。全ての自治組織に対して、活動に応じた財政的支援が出来た。	総会、役員会の運営費、地域の防災訓練やもちつき大会の事業費、集会所の光熱水費などに対して、補助金を交付した。全ての自治組織に対して、活動に応じた財政的支援が出来た。	コロナ禍の影響による事業縮小等により、補助金を活用しきれていない団体もあった。	積極的な活動が出来るように、自治組織の要望を聞きながら、今後も効果的な財政支援を検討・構築していく必要がある。	コロナ禍からの事業再開において、補助金にコミュニティ促進事業を継続して交付する。 DX化促進を図り、ホームページ開設の支援等を行う。
3	協働推進課	ふじみ野市花いっぱい運動推進委員会	市民団体	補助	ふじみ野市花いっぱい運動推進事業補助金	花を活かしたまちづくり活動及びコミュニティの場づくり、地域らしさの発見、地域間交流等の活動の推進を図るため、予算の範囲内において補助金を交付する。		花のあるまち風景写真コンテスト：応募数18件 花いっぱい運動コンクール：21団体参加 花栽培講座：1回実施 花壇活動：2回（春秋）植え替え、随時手入れ	補助金の交付により、花いっぱい運動の事業が展開されている。特に花いっぱい運動コンクールは、参加団体に好評であり、継続実施が望まれている。	「花いっぱい運動」の認知度向上及び会員団体間のコミュニティを広げる必要がある。	ホームページや広報の活用他、研修や交流ができる事業の実施、他団体の主催する事業への参加等により、花いっぱい運動推進委員会の活動の周知を行い、団体相互のつながりを作る。また、花いっぱいサポーターとして、事業運営に協力する方を引き続き募集し、団体間の交流を図る。
4	文化・スポーツ振興課	団体 個人	その他	補助	文化芸術活動未来応援事業	市の魅力を高め、地域の活性化、賑わいをつくり出す市民等の自主的・創造的な文化芸術活動を支援する。	文化芸術法第8条から第14条までに規定する文化芸術を活用した地域を元気にする事業及び社会包摂の事業を公募し、採択事業へ補助を行う。	5団体・個人への補助を実施し、コンサート及びワークショップを実施し延べ432人が来場した。	補助金を活用し、市が事業の周知等に協力することで市外からの参加者が増えるなど良い効果があった。	事業者への評価や事業効果を踏まえ、文化振興審議会において事業の在り方や募集・選定基準について検討していく必要がある。	募集要項の見直しを行い、継続して事業を実施する。
5	環境課	花と緑部会 こみ減量をすすめる会 上福岡駅前に花と緑を育てる会	市民団体	補助	環境協働事業補助金	環境分野における公益活動を行おうとする市民活動団体に対し補助金を交付することで、活動を支援する。	市民との環境分野に関する協働事業を支援するため、公益活動を行おうとする市民活動団体に対し補助金を交付する。	花と緑部会：緑のカーテン用苗の配布、市役所本庁舎への緑のカーテンの設置 上福岡駅前に花と緑を育てる会：上福岡駅前ロータリー緑地帯の花壇化 こみの減量をすすめる会：こみ減量を推進し、キエーロの利用者を増やすために展示会相談会を開催		例年同団体への補助を行っており、関係団体の固定化が見られる。	予算の都合上、大幅に交付先の団体を増加することは難しいが、新たな団体に補助金利用について調整中。
6	高齢福祉課	ふじみ野明るい社会づくりの会	NPO	補助	訪問型サービスB	高齢者の地域における自立した日常生活を支援するため、住民主体による多様な生活支援サービス（訪問型サービスB）を実施する。	事業対象者及び要支援者に対し、生活援助（家事）を中心とする訪問型サービスを実施する。	実施述べ回数 134回 実人数 3人	NPO法人の安定した運営に活用できている。 高齢者の生きがい、健康づくりに役立っている。	サービス提供者は、有償ボランティア会員となるため、新たな会員の獲得、担い手の育成が課題である。	定期的に市報へ団体の活動内容とボランティア会員募集の案内を掲載している。
7	子育て支援課	ふじみ野市地域青少年指導員連絡協議会	市民団体	補助	青少年健全育成活動事業補助金	自治組織連合会に加入している自治組織の区域内に地域青少年指導員を置き、青少年健全育成活動を推進し、その活動を通して地域コミュニティの醸成を図る。	①各区域における地域事業 ②非行防止パトロール(夏、冬)	地域青少年指導員を置いている51区域のうち、40区域において全63地域事業を実施し、延べ6,340人（大人：3,180人、子ども：2,740人、内訳不明：420人）が参加した。 非行防止パトロールについては、47区域において実施し、全288回、延べ1,491人（夏：全144回、延べ790人、冬：全144回、延べ701人）が参加した。	地域事業については、昨年度と比べて実施区域が増え、参加人数も約1.5倍となり、各区域における地域コミュニティの醸成をより推進することができた。 非行防止パトロールについても、昨年度と比べて回数及び参加人数が増加したことから、活動に対する意識や意欲の向上が伺える。	各自治組織における担い手不足が懸念される。 また、コロナ禍が収束し、身体的、精神的な制約がなくなった一方、一度低下してしまった意識や意欲がコロナ禍以前の水準に戻ったとは言えないため、今後は、各自治組織の現状に向き合いつつ、活発な状態に少しずつ戻していく必要がある。	引き続き、各自治組織への推薦依頼等を通して団体の活動内容や意義を伝え、理解していただくことで休止する自治組織数の増加を防ぐ。 また、事業の実施に当たっては、課題や相談事項がある場合には親身に耳を傾け、共に考えるなど、活動に繋げることができるよう協働していく。
8	子育て支援課	ふじみ野市子ども会育成団体連絡協議会	市民団体	補助	ふじみ野市子ども会育成団体連絡協議会補助金	地域子ども会相互の連携調整を図り、イベント等を通して子どもの健全育成に寄与する。	①ふじみ野子どもまつり ②ふじみ野郷土カルタ体験会 ③彩の国21世紀郷土かるた大会	①300人程度の親子が来場し、子どもの遊びや体験の場を提供することができた。 ②21人が参加し、カルタを楽しむとともに、郷土愛の醸成を図ることができた。また、ジュニアリーダーとして2人の中学生が審判として参加をし、次世代指導者育成の一助となることができた。 ③7人が参加し、上位入賞者は県大会へ派遣を行った。また、ジュニアリーダーとして中学生が審判として4人参加し、次世代指導者育成の一助となることができた。	ふじみ野子どもまつりを4年ぶりに開催することができ、地域で育つ子どもへ遊びや体験の機会を提供することができた。 コロナでカルタ大会が開催できなかったことによりジュニアリーダーが減少しているが、事業を継続することによりカルタ大会の参加者が連続してジュニアリーダーとして参加してくれることを期待する。	新たな団体役員の担い手がおらず、事業を拡大することが難しい。	子どもの利益に資する事業を実施しているということを説明し、可能な範囲で単位子ども会の保護者に対して事業への協力を呼び掛ける。
9	子育て支援課	青少年育成ふじみ野市民会議	市民団体	補助	青少年健全育成活動事業補助金	少年の主張や青少年健全育成講演会等を通して、青少年に対する理解と認識を深めるとともに、地域における青少年の見守り等の意識向上を目指すことで、次代を担う青少年の健全な育成を図る。	①青少年を健全に育てるための市民大会“少年の主張inふじみ野” ②青少年健全育成講演会	少年の主張inふじみ野では、市内小中学校・高等学校の各代表1名による主張の発表のほか、葦原中学校吹奏楽部による演奏発表を行った。当日は225人が来場し、青少年への理解を深めることができた。 青少年健全講演会は、ふじみ野市PTA連合会と共同で開催し、講師として元閣僚の豊ノ島氏をお呼びした。「夢は叶えるもの」というテーマで講演をいただき、当日は165人が来場した。	少年の主張については招待演奏を含めコロナ禍以前と同様に開催することができた。講演会についてはPTA連合会と共催することになり、これまで以上に著名な講師を呼ぶことができた。 少年の主張も新設のステラ・ウェストホールで開催するにあたり、今後は集客により力を入れていきたい。	どちらの事業においても集客が課題である。 少年の主張においては、来場者のほとんどが発表者の親族・知人であるのが現状であるが、それ以外の市民にも、地域の青少年が抱えている想いを知ってもらえと望ましい。	SNSの活用や、自治組織への周知依頼等、積極的な広報活動を展開する。講演会においては、魅力的な講師の選定にも注力する。

【令和5年度】協働事業に関する調査

No.	協働事業実施者			協働事業の概要				協働事業の実績	協働事業の評価	協働事業の今後の取組	
	部署名	相手方	種類	形態	事業名	目的	事業概要	実績・効果・参加者数等	相手方の意見・評価	課題	取組
10	保健センター	ふじみ野市食生活改善推進員協議会	市民団体	補助	地域健康推進事業（ふじみ野市食生活改善推進員協議会事業費補助金）	食育を通して市民の栄養及び食生活の改善を図り、健康保持増進に役立つ。	地域に市の健康施策を普及させることを目指し、ことからも高齢者まで、各世代の健康課題に応じた自主事業や市事業協力を行う。	《市民向け自主事業》 ・夏休み親子クッキング 1回 参加者30人 ・男の料理塾 1回 参加者18人 《市事業協力》 地域健康教育、産業まつり等の市事業に協力	・市民向け自主事業は、調理実習を含めた実践的な内容としており、市民の栄養および食生活の改善に貢献できている。 ・市事業協力では、自主事業とは異なる学びや経験を得ることができている。 ・協議会活動への参加が、会員自身の健康増進や地域コミュニティの構築に役立っている。	・会員の高齢化および会員数の減少 ・市民向け事業の充実	・食生活改善推進員養成講座を定期的に実施し（3年に1回を予定）、新規会員の育成と活動の活性化を支援していく。 ・食育や健康づくりの更なる推進を目指すし、自主事業や市事業協力の回数を増やしていく。他の市民団体等との連携を図り、地域での活動を充実させる。
11	保健センター	ふじみ野市母子愛育会	市民団体	補助	地域健康推進事業（ふじみ野市保健事業推進活動費補助金）	妊婦及び乳幼児とその保護者に向け、行政と連携・協働した子育て支援を展開する。参加者の地域参加や交流を促し、母子の孤立や虐待を防ぎ母子保健の向上に努める。	妊婦、乳幼児を対象とした交流活動と地域での声かけを通して、行政のハイブ役として地域に密着した活動や市事業の協力を行う。	・親子交流会 3回 ・三世代交流会 1回 ・支部交流会 0回 ・声掛け活動 696件 ・市事業協力（赤ちゃん学級）12回	妊婦・乳幼児とその保護者に向けた活動を通して、参加者の地域参画や交流を促し、母子の孤立や虐待を防ぎ、母子保健の向上につながっている。	・会員の高齢化および会員数の減少	市報などに活動内容の紹介を掲載し、併せて会員の募集を行う。
12	学校教育課	学校運営協議会	その他	補助	地域協働学校推進事業	学校を核とした地域郷土の推進により、人づくりまちづくりの好循環を生み出すシステムを作り、持続可能な街づくりを推進する。	地域協働学校の運営	新型コロナウイルス感染症の影響が多少残る中、活動に若干の制限があったが、各学校において可能な限り活動を行った。参加者数は各学校による。	各学校に地域協働学校推進事業補助金を交付し、学校の特色に合わせ、開かれた学校づくりを推進することができた。	学校運営協議会委員の資質向上を図り、より充実した地域協働学校を推進する必要がある。	研修会を計画し、実施する。また、各校に担当の指導主事を割り、見届けと指導・支援を行う。
13	社会教育課	大井上組囃子保存会 大井旭囃子保存会 苗間囃子保存会 亀久保囃子保存会 福岡中央一丁目囃子連 縛部塚（一本松）等 景観保存会 安楽寺	市民団体	補助	文化財保存事業補助金	市域に残された文化財を後世まで永く伝えるとともに、市民が文化財への理解を深めるための一助とする。	歴史上貴重な財産である文化財を保護し、これを活用して郷土愛の育成を図るため。文化財の保存事業を行う者に対し、予算の範囲内において、経費の一部を補助する。	令和5年度は、市指定無形民俗文化財保持団体である囃子保存会4団体及び文化財保護団体2団体、市指定文化財所有者1人に対し補助金交付の決定をした。事業経費を一部補助することにより、伝統芸能や文化財の保存・継承につなげることができた。	文化財修理の場合、修理費がかかるため、その対応が課題となる。市指定文化財に指定されていない文化財に対しても、保存・継承が必要である。	文化財所有者・保持団体等と連絡をとりあい、文化財の状況を把握し、予算確保に努める。	
14	社会教育課	ふじみ野市文化団体連絡協議会	市民団体	補助	社会教育関係団体育成事業	社会教育法第10条に規定する社会教育関係団体の健全な育成及び社会教育の振興による市民文化の醸成を図る。	ふじみ野市社会教育関係団体補助金交付要綱に基づき、市全体を統括している団体（統括団体）からの申請により補助金を交付する。	申請団体がなかったため、実績なし。			
15	上福岡西公民館	文京学院大学	協定締結先	補助	上福岡西公民館家庭教育セミナー（入学準備講座）	核家族化が進み、子育て中の家庭が地域で孤立しがちになっている現状から、地域で安心して子育てするにはどうしたらよいか、さらに入学準備講座として、小学校入学を控えた親子の不安を少しでも解決できるよう支援するための講座を開設する。	講義及びグループ討議、実習など（全4回）	【成果】孤立しがちな受講生にとって、子育ての悩みの解消、あるいは親同士の友だちづくりにつながっている。 【参加者数】延べ参加人数18人	周知方法を工夫する等して、参加者を増やす試みを継続していく必要がある。	市内の幼稚園を通じ400人以上の保護者に個別にチラシを配布し参加を要請しているが、未だに参加人数が少ない状況である。	参加募集については、今後はさらにチラシの配布機関の拡大や様々な媒体を利用すると共に、3歳児の親子教室卒業生に個別通知をするなど大学との連携を深めて行く。
16	上福岡西公民館	女子栄養大学	協定締結先	補助	昭和100年大学くらしの生活学部教養学科	高齢者の皆さんが、いつまでも元気に社会参加し、豊かな人生を送ることができるよう、幅広い学習の場を提供するとともに、その学習の成果を地域づくりに活かすことができるよう学習支援をする。	健康のための教養学科カリキュラムの2回目に「高齢者の実践栄養学」をテーマに講義を開催する。	【成果】高齢者の生活課題を解決するための学びを通して仲間づくりを図ることができた。 【参加者数】登録人数50人、参加人数48人	講座内容を日々の生活に生かしていくために、必要なことである。	人生100年時代の健康寿命、介護されない元気な未来のために栄養学、食生活、運動など多面的に多くの示唆をいただきました。今後は、学んだ内容を各人が実践することが課題となります。	各班ごとに仲間づくりを拡大しながら、友だちと一緒に学んだ内容を実践する取り組みを推奨していく。
17	上福岡西公民館	大東文化大学	協定締結先	補助	わんぱく教室	異年齢の子ども同士で交流する場所や機会を提供し、学校、学年の違う子どもたちによる、たて割班を作り、遊びや体験活動を通して仲間作りをし、相互に尊重し合える人間関係を築く。	遊び及び体験など（全9回）	【成果】様々な遊び・共同作業を通して仲間づくりができた。 【参加者数】延べ参加人数224人	学校での仲間づくりや家庭内での料理を進んで実施するなど、今後も日々の生活に生かせるような事業を継続していきたい。	公民館事業内で、類似事業（異年齢集団事業）があるため、統合等の検討を図る必要がある。	異なる学校に通う子どもたちが異年齢集団を作り、相互に尊重し合える人間関係を築いていく。
18	経営戦略室	学校法人ホンダ学園 ホンダテクニカルカレッジ関東	協定締結先	実行委員会	学校関係者評価委員会	学校の自己評価の客観性・透明性を高め、学校と密接に関係する者の理解促進、連携協力による学校運営の改善を図る。	学校が策定した重点目標、計画の実施について自己評価を行い、その結果を踏まえ、今後の取組方針などについて、学校が選定した学校関係者評価委員に説明し、教育活動、学校運営等に係る課題を共有し、今後の方向性等に対する助言、評価等を頂くことで学校改善につなげることを目指す。	－ (ホンダ学園の実施事業のため)	－ (ホンダ学園の実施事業のため)	－ (ホンダ学園の実施事業のため)	－ (ホンダ学園の実施事業のため)
19	協働推進課	おい祭り実行委員会	市民団体	実行委員会	おい祭り	多くの市民の参加と協力により、郷土愛を育むふるさとの祭りとして発展させるとともに、祭りを通して生まれる交流をまちの活性化につなげていくことを目的とし、「おい祭り」を開催する。	模擬店・ステージ・ストリート・青年バンド・子ども広場等の企画・運営	日時：令和5年7月23日（日）正午～午後9時 場所：東久保中央公園、大井東中学校体育館及び周辺道路 来場者数：約75,000人 内容：再開記念事業（お笑い芸人の出演、ふじみん山車・ミニSLの運行、のぼり旗の作成、うちわ・鳴子の配布）、ステージ事業、ストリート事業、模擬店事業、子ども広場事業、バンドステージ事業	過去最高の来場者を数え、4年ぶりの開催であって大きな事故なく終えることができた。	・暑さ、熱中症対策 ・ごみのポイ捨て、撮影に関するマナーの向上に関する周知や啓発	ミストファン等の設置、マナー向上の周知に努める。
20	協働推進課	福岡河岸まつり実行委員会	市民団体	実行委員会	福岡河岸まつり	福岡河岸まつりを通して、舟運で栄えた福岡河岸の歴史を将来に繋ぎ、子ども達にふるさとの夏の思い出を提供していく。	模擬店・こども広場・燈籠飾り・ステージ・花火等の企画・運営	雷雨のため19時頃中止	多くの来場者で賑わいを見せたが、残念ながら中止とせざるを得なかった。	開催場所が河川敷であることから雨天予報における開催の判断が難しい。	中止の判断基準を安全対策の手引き書に記載する。それを実行委員会の会議の中で委員に共有し、より安全な運営に向けて、なるべく早い判断を心掛ける。
21	協働推進課	平和推進事業実行委員会	市民団体	実行委員会	平和推進事業	戦争の悲惨さ、平和の大切さを市民とともに発信し、誰もが安全で安心な生活を営むことができる平和な世界の実現を目指す。	市（協働推進課・社会教育課）が共催で開催する平和推進事業の企画・運営等の参加・協力	日時：令和5年9月30日（土）午後1時～3時30分 場所：ゆめぼると（大井総合支所2階） 来場者数：114人 内容：大井中学校音楽部コンサート、講演会、パネル展示会 ※パネル展示会は9月11日～22日に大井総合支所展示スペース、9月25日～29日に本庁舎ギャラリーでも実施	アンケート：子どもも興味が持てる分かりやすい内容を希望	各団体から選出された委員の方からの提案により、様々な事業を展開することが出来ている。平和に対する意識醸成のため、今後も継続的な取り組みが必要がある。	市報、市ホームページの他、市内小・中学校全児童に配布するなど、積極的にPRを行う。
22	協働推進課	子ども大学ふじみ野実行委員会	市民団体	実行委員会	子ども大学ふじみ野	主に文京学院大学のキャンパスを会場に、大学教授や地域の専門家などが講師となり、市内に在住する小学校4～6年生の子どもたちの知的好奇心を刺激する講義や体験活動を提供する。	子ども大学ふじみ野実行委員会への参加及び負担金の支出	令和5年9月23日、10月29日、11月19日の3日間で開催し、20人が受講した。	受講者アンケート：とても満足16人、満足4人	受講者が定員数に達しない。	魅力あるカリキュラムを検討し、周知活動に努める。

【令和５年度】協働事業に関する調査

No.	協働事業実施者			協働事業の概要				協働事業の実績	協働事業の評価	協働事業の今後の取組	
	部署名	相手方	種類	形態	事業名	目的	事業概要	実績・効果・参加者数等	相手方の意見・評価	課題	取組
23	文化・スポーツ振興課	文京学院大学 ふじみ野市音楽家協会 株式会社KDDI総合研究所 個人（アートフェスタふじみ野2023実行委員会）	協定締結先 その他	実行委員会	アートフェスタふじみ野2023	市民に気軽に文化に触れる機会を提供すると共に、分野を超えてアーティストのつながりを醸成し活躍の場を提供する。	プロ、アマチュアアーティストによるコンサート、アート系ワークショップのほか、市民参加による合唱等を実施する。	新しい文化施設「ふじみ野ステラ・ウェスト」を活用し、42団体が参加し、2日間で6,638人が来場した。	さまざまな人の協力で、イベントを成功させることができた。課題はあるが、地域の方々が気軽にアートにふれ、出会う機会づくりとして、次年度以降も実施方法などを検討しながら継続していききたい。	今後の事業の在り方を踏まえ、誰もが気軽に足を運び、アートに触れることができる体制づくりの検討が必要。イベントの実施方法や出演者・参加者等の募集方法を見直していく必要がある。	継続して事業を実施する。
24	文化・スポーツ振興課	スポーツ協会	その他	実行委員会	第19回ふじみ野市ロードレース大会	誰でも気軽に参加できるロードレース大会をスポーツの振興及び健康づくりの一環として開催する。	ふじみ野市第2運動公園周辺をコースとする計8レース17部門のロードレース大会を開催。	申込者数：1,281人 完走者数：906人	大きな事故・怪我なく開催し、老若男女問わず多くの方々に楽しんでいただくことができた。	小学生の部及び中学生の部をはじめとする子どもの参加を増やす取り組みが必要である。	大会について、SNS等も活用し周知を強化していく。
25	文化・スポーツ振興課	自治組織	市民団体	実行委員会	市民スポーツフェスティバル	市内の自治組織が広く参加することから、その地域住民がスポーツを楽しむだけでなく、健康増進やコミュニティとしての親睦を深めることができる場を提供する。	東地域と西地域に分かれ、さまざまな競技種目を実施する。 東地域は一か所に集まり10月に開催、西地域は小学校区毎に各校で7～10月に開催する。	参加者数 東地域：845人 西地域：1,384人 合 計：2,229人	子供から高齢者、障がいのある方が誰でも参加できる運動会形式で実施され、大勢の参加者が最後まで市民スポーツフェスティバルを楽しんでいた。	これまで東地域、西地域でそれぞれ開催していたが、夏季オリンピック開催年に併せて4年に一度、「オールふじみ野スポーツフェスティバル」として、東西合同で実施し、東西の一体感を高める取り組みが必要である。	令和6年度は、夏季にパリオリンピックが開催されるため、「オールふじみ野スポーツフェスティバル」として開催する。
26	文化・スポーツ振興課	スポーツ協会	その他	実行委員会	第55回入間東部地区駅伝競走大会	入間東部地区の住民相互の交流スポーツ振興とともに、健康・体力づくりを目的に本大会を開催する。	ふじみ野市第2運動公園をスタートし、富士見市南畑小学校周辺を周回する全18.9kmコースで、5区間に渡ってたすきをつなぐ駅伝大会を開催。	申込チーム数：101チーム 完走チーム数：95チーム	多くの方が参加し、楽しく笑顔あふれる大会が実施できた。	小中学生の参加や、女子の部の参加を増やす取り組みが必要である。	大会内容及び女子の部について周知を強化していく。
27	環境課	環境フェア実行委員会	市民団体	実行委員会	環境フェア	環境に対する気づきや学びの場として、特色ある地域の自然環境や身近な環境問題などについて知り・考え・学ぶ契機とすることを目的に「環境フェア」を実施する。	模擬店・ステージ・表彰式及び作品展 示・フリーマーケット・クイズラリー・各ブース	1,500人参加	アンケート結果より、来場者の多くから実際に体験をし、環境問題を身近に感じることができたという意見があった。	昨年度は、新型コロナウイルス明けの開催ということもあったが、今後実行委員のメンバーや環境フェアの内容など、マンネリ化してしまう可能性がある。	来年度環境フェア開催時に、ふじみ野市20周年記念として新たな内容を取り入れるか検討中。
28	産業振興課	ふじみ野「福」バル 実行委員会	その他	実行委員会	ふじみ野「福」バル	地元飲食店を主体に商業・サービス業者を対象とした誘因性の高い「食べ歩き、飲み歩き」をテーマとしたイベント「街バル」を実施することにより来街者の増加と回遊性の向上を図り、商店街等の賑わいを創出する。	お店をはしごしながら食べ・飲み歩きするグルメ&ショッピングイベント	令和5年11月6日～19日実施 9,675枚販売 参加73店舗	長く続いており、店舗・お客様からの支持を受けている事業であるが、回数を重ねる度に、事業開催目的が曖昧になってきている。	実行委員会との綿密な協議	ふじみ野市商工会との連携 福バル実行委員会会議の開催
29	産業振興課	上福岡七夕まつり実行委員会	市民団体	実行委員会	上福岡七夕まつり	伝統ある上福岡七夕まつりがふるさとのお祭りとして、子どもたちの心いつまでもなつかしい思い出となるように、また、市民の心ふれあう街としていくため、多くの市民の参加を図りつつ、観光客の誘致に努め地元産業と観光の振興に寄与する祭典とする。	模擬店・各団体によるステージ・市民盆踊り・阿波踊り・竹飾りコンクール等	令和5年8月5日～6日実施 来場者数174,000人	多くの来場者や関係者を巻き込む大規模な事業になるため、事故なく安全にまつりを開催する。	実行委員会との綿密な協議と万全な体制づくり	七夕まつり実行委員会会議の開催 細部については部会で分け、意見を言いやすい環境を作る。
30	産業振興課	ふじみ野市産業まつり 実行委員会	市民団体	実行委員会	ふじみ野市産業まつり	ふじみ野市をより活力あるものにするため、地元産業が地域社会において果たしている重要な経済的、社会的役割を再確認し、商工業者、農業者と多くの市民の参加のもとにふれあいの場を作ることにより、その意識の高揚を図り、もって地元産業の振興に寄与するまつりとして開催する。	模擬店・かぼちゃの重さ当てクイズ・釜めし交換等	令和5年度は新型コロナウイルスの影響により開催時間、規模を縮小、飲食スペースを配置し実施。 来場者数 60,000人	多くの来場者や関係者を巻き込む大規模な事業になるため、事故なく安全にまつりを開催する。	・実行委員会との綿密な協議と万全な体制づくり ・感染症拡大前の規模と賑わいを創出	産業まつり実行委員会会議の開催
31	経営戦略室	尚美学園大学	協定締結先	事業協力	「オールふじみ野」未来政策会議	「市の魅力の発信」をテーマに、「オールふじみ野」未来政策会議（以下、「未来政策会議」という。）のメンバーが企画・検討を重ね、自ら情報発信する実践的な取組を進める。	市民メンバーを中心に、包括連携先の尚美学園大学の学生が制作するイラストを通じて、魅力的な市内飲食店を紹介する「ふじみんのいいところ探し」を市報裏表紙に掲載し、シティブロモーションを推進する取組を実施している。	3回の取材を行い、6件（6人の学生が参加）の店舗を市報に掲載することで、市の魅力を発信することでできた。	課外授業を行うことで、学生にとってもとても良い経験になっている。	特になし	今後も継続して取材をしていく。 取りまとめ冊子発行の検討。
32	経営戦略室	あいおいニッセイ同和損保保険株式会社	協定締結先	事業協力	SDG s 研修	SDG s の意義の再認識し、本質を理解するとともに今後の本市におけるSDG s の視点による事務事業の展開方法や行政運営の在り方を学ぶ。	研修会開催	11月20日開催 参加人数 46人	研修会を実施することで、SDG s に対する理解、取組など職員の意識向上に寄与できた。	市職員だけではなく民間企業に対しても実施していきたい。	今後も継続的に実施できるよう調整を行う。
33	経営戦略室	文京学院大学（公募メンバー）	協定締結先	事業協力	ふじみ野市誕生20周年記念事業市民企画会議	令和7年10月に市誕生20周年を迎えることから、記念事業を市民と市の協働による事業することで、シビックプライドの醸成を図るとともに次世代につながる事業を検討し実施する。	令和7年10月5日（日）に開催する記念式典後に実施する事業の検討を行うとともに、市内外へ市の魅力をPRする手法の検討を行う。	計3回の会議を実施し、記念式典後に実施する事業として「ベートーヴェン 第九合唱」に決定する。	様々な分野の方と事業を作りあげていく貴重な機会となった。	特になし	市誕生20周年をお祝いする機運を高めるために啓発品の作成や事業実施に向けた準備を行う。
34	協働推進課	文京学院大学	協定締結先	事業協力	公務キャリア特講	現役で活躍する市の職員が、文京学院大学の学生に対し、自ら取り組んでいる政策課題や仕事の魅力等について講義し、職員の派遣研修及び学生の公務員志望に繋げる。	地域社会の様々な課題・ニーズに対応している公務員という職業の実態を多角的な視点から理解し、共生社会実現に資するための知識や意欲を身につける。また、ふじみ野市の地域課題を知り、対応策の模索、政策の提案を考えていく。	9月30日～12月23日の期間で計13回の講義を行い、15部署から19人の講師を派遣した。 受講生人数 40名	受講者アンケート ・オムニバス形式の授業について（良い：100%） ・公務員の仕事内容・役割・特徴について（理解できた：97%） ・授業をきっかけに公務員を志望するようになったか（なった：56%）	公務員志望の学生が今後増えていけるよう、講義の形式や内容の工夫を図ること。	公務員の業務内容中心の講義だけでなく、民間企業との違いについても触れるなど、学生がより理解しやすい内容にする。
35	協働推進課	文京学院大学	協定締結先	事業協力	プラスワン講座	市内で活動する市民活動団体やNPOを支援するため、活動に役立つ知識、スキルアップを目的とした講座を開催する。	令和5年度市民活動展示会・交流会参加団体を対象にした団体紹介動画作成講座の開催	テーマ：団体紹介動画をつくってみよう 日時：令和5年10月17日 概要説明 令和5年11月 1日 第1回 令和5年11月29日 第2回 参加団体数：19団体	多くの団体が個性的な動画を作成し、市民活動展示会・交流会で放映することができた。	市民活動団体がスマホ、PC、タブレットの操作に抵抗を無くし、インターネットを活用した情報発信が行えるようにすること。	DX化への取り組みの一つとして、情報発信のためのホームページ作成・運営に関する講座を企画する。
36	文化・スポーツ振興課	NPO法人ふじみ野市音楽家協会 ふじみ野市文化協会	その他	事業協力	文化芸術アウトリーチ事業	文化芸術に親しむ環境づくりや、心豊かな感性を育む情操教育の一助とすること、また、芸術系の部活動や授業等へのサポートを行う。	小・中学校等からの要望に基づいて主にふじみ野市近隣在住のアーティストを派遣する。	小中学校6校へアーティストを派遣し、音楽の特別授業や合唱指導、キャリア教育を実施した。	子どもたちも先生も地域の方もみんなが笑顔になる時間をつくることができた。地域の子もたちと触れあう機会となり、刺激になった。	学校によって利用機会の数に差がある。より多くの児童生徒に文化芸術に触れる機会を提供するため、学校への事業の周知に継続して取り組む必要がある。	継続して事業を実施する。

【令和5年度】協働事業に関する調査

No.	協働事業実施者			協働事業の概要				協働事業の実績	協働事業の評価	協働事業の今後の取組	
	部署名	相手方	種類	形態	事業名	目的	事業概要	実績・効果・参加者数等	相手方の意見・評価	課題	取組
37	環境課	ごみ減量をすすめる会 ふじみ野エコウェルズ株式会社 淑徳大学 ホンダテクニカルカレッジ関東 イオン株式会社 武州カス株式会社 石坂産業株式会社 他	協定締結先 事業者 その他	事業協力	エコラボフェスタ	様々な催しを通して、楽しみながらエコについて考える。	イベントステージ、クイズラリー、体験・展示ブース	来場者数1,500人 ※協働の相手方：市民団体・事業者・NPO・協定締結先	アンケート結果により、「エコを学びながら良い経験ができた」「とても活気があるイベントで来て良かった」など、満足度の高い感想が多かった。	市民の方が毎年行っても満足いただけるようなイベントとなるよう、協働事業者の出店内容がワンパターンにならないよう工夫していく必要がある。	協働事業者と引き続き協力しながらイベントの開催を調整していく。
38	環境課	文京学院大学 株式会社KDDI総合研究所 シルバー人材センター	協定締結先 その他	事業協力	環境学習講座	環境に関する様々な講座を開催し、子どもから大人まで幅広い世代に環境の意識啓発を行う。	講座開催	26回開催 延べ663人 ※協働の相手方：市民団体・事業者・協定締結先	アンケート結果により、「親子で協力しながら環境について楽しく学べた」「また参加したい」等、高評価の感想が多くあった。	毎年、内容が固定化してきてしまっており、より多くの市民に参加してもらうためにも、民間活力を生かした新たな企画を行う等、内容の刷新が必要。	今後も民間企業の事業協力を得ながら、幅広い世代の参加者を増やす工夫を行い、市民への環境の意識啓発を行っていく。
39	産業振興課	文京学院大学	協定締結先	事業協力	上福岡七夕まつり	ふじみ野市をより活力あるものにするため、地元産業が地域社会において果たしている重要な経済的、社会的役割を再確認し、商工業者、農業者と多くの市民の参加のもとにふれあいの場を作ることに より、その意識の高揚を図り、もって地元産業の振興に寄与するまつりとして開催する。	模擬店・各団体によるステージ・市民益踊り・阿波踊り・竹飾りコンクール等	令和5年8月5日～6日実施 来場者数174,000人	多くの来場者や関係者を巻き込む大規模な事業になるため、事故なく安全にまつりを開催する。	実行委員会との綿密な協議と万全な体制づくり	七夕まつり実行委員会会議の開催 細部については部会で分け、意見を言いやすい環境を作る。
40	地域福祉課	文京学院大学	協定締結先	事業協力	生活困窮者自立相談支援事業 生活困窮者支援等のための地域づくり事業	地域コミュニティを形成する居場所づくり、多様な担い手が連携する仕組みづくりを行うことを通じて、身近な地域における共助の取組を活性化させ、地域福祉の推進を図る。ふくし総合相談センターよりそい（社会福祉協議会受託）で実施する。	困窮世帯に向けたフードパントリーを実施するとともに、地域の子ども・子育て世帯・高齢者・ひきこもり当事者などの居場所や社会参加につながる取り組みとして実施する。今回は、夏休みフードパントリー・多世代交流「子どもの縁日&昔あそび」を文京学院大学地域連携センターBICSの学生ボランティアに協力してもらい、実施する。 魚釣りゲーム、輪投げ、じゃんけんゲームをスタンプラリー形式で実施。多くの参加者が参加し、交流を図る。	パントリー参加世帯：29世帯 参加者数：105人（子育て世帯72人、高齢者33人）	BICSとしての地域貢献の場が得られて良かった、直接参加者と関わることで、参加者の喜ぶ姿を感じ、今後の活動への更なる活力となった等の感想をいただいた。	地域の企業や学校の協力が地域活性に繋がり、企業や学校にとっても地域貢献活動になる。この企画は、官民連携が不可欠であり、今後も地域づくりの視点で地域を繋げていく必要がある。	市が多世代交流や地域づくり事業等のイベントを開催する際、大学に情報提供し学生の参加を呼びかける。学生がボランティアとしての役割を担うだけでなく、学生自身の学びの機会や地域住民との相互作用による相乗効果が期待できるよう取り組んでいく。
41	地域福祉課	明治安田生命保険相互会社川越支店ふじみ野営業所	事業者	事業協力	生活困窮者自立相談支援事業 生活困窮者支援等のための地域づくり事業	地域コミュニティを形成する居場所づくり、多様な担い手が連携する仕組みづくりを行うことを通じて、身近な地域における共助の取組を活性化させ、地域福祉の推進を図る。ふくし総合相談センターよりそい（社会福祉協議会受託）で実施する。	困窮世帯に向けたフードパントリーを実施するとともに、地域の子ども・子育て世帯・高齢者・ひきこもり当事者などの居場所や社会参加につながる取り組みとして実施する。今回は、夏休みフードパントリー・多世代交流「子どもの縁日&昔あそび」を文京学院大学地域連携センターBICS、明治安田生命保険相互会社川越支店ふじみ野営業所に協力してもらい、実施する。 魚釣りゲーム、輪投げ、じゃんけんゲームをスタンプラリー形式で実施。多くの参加者が参加し、交流を図る。	パントリー参加世帯：29世帯 参加者数：105人（子育て世帯72人、高齢者33人）	高齢の参加者が特に喜んで参加されていた。自身の健康状態を知り、今後の健康管理、介護予防、健康寿命を伸ばす取り組みにつながっていると感じる。	地域の企業や学校の協力が地域活性に繋がり、企業や学校にとっても地域貢献活動になる。この企画は、官民連携が不可欠であり、今後も地域づくりの視点で地域を繋げていく必要がある。	市の事業への理解と協力について話し合い、官民連携による取組を実施するとともに、地域住民の活動とのマッチングやコーディネートを行う。
42	地域福祉課	文京学院大学	協定締結先	事業協力	生活困窮者自立相談支援事業 生活困窮者支援等のための地域づくり事業	地域コミュニティを形成する居場所づくり、多様な担い手が連携する仕組みづくりを行うことを通じて、身近な地域における共助の取組を活性化させ、地域福祉の推進を図る。ふくし総合相談センターよりそい（社会福祉協議会受託）で実施する。	困窮世帯に向けたフードパントリーを実施するとともに、地域の子ども・子育て世帯・高齢者・ひきこもり当事者などの居場所や社会参加につながる取り組みとして実施。今回は、冬休みフードパントリー・多世代交流「コンサート＆ワークショップ」のワークショップの一部を明治安田生命保険相互会社川越支店ふじみ野営業所に協力してもらい、実施。 石鯨ブーケ作り、缶バッチ作りを催し交流を図る。	パントリー参加世帯：29世帯 参加者数：98人（子育て世帯84人、高齢者14人）	BICSとしての地域貢献の場が得られて良かった、直接参加者と関わることで参加者の喜ぶ姿を感じ今後の活動への更なる活力となった等の感想をいただいた。	地域の企業や学校の協力が地域活性に繋がり、企業や学校にとっても地域貢献活動になる。この企画は、官民連携が不可欠であり、今後も地域づくりの視点で地域を繋げていく必要がある。	市が多世代交流や地域づくり事業等のイベントを開催する際、大学に情報提供し学生の参加を呼びかける。学生がボランティアとしての役割を担うだけでなく、学生自身の学びの機会や地域住民との相互作用による相乗効果が期待できるよう取り組んでいく。
43	地域福祉課	明治安田生命保険相互会社川越支店ふじみ野営業所	事業者	事業協力	生活困窮者自立相談支援事業 生活困窮者支援等のための地域づくり事業	地域コミュニティを形成する居場所づくり、多様な担い手が連携する仕組みづくりを行うことを通じて、身近な地域における共助の取組を活性化させ、地域福祉の推進を図る。ふくし総合相談センターよりそい（社会福祉協議会受託）で実施する。	困窮世帯に向けたフードパントリーを実施するとともに、地域の子ども・子育て世帯・高齢者・ひきこもり当事者などの居場所や社会参加につながる取り組みとして実施する。今回は、冬休みフードパントリー・多世代交流「コンサート＆ワークショップ」のワークショップの一部を明治安田生命保険相互会社川越支店ふじみ野営業所に協力してもらい実施する。 健康測定コーナーとして、ヘジチェック、握力測定、骨チェックを実施し、交流を図る。	パントリー参加世帯：29世帯 参加者数：98人（子育て世帯84名、高齢者14名）	高齢の参加者が特に喜んで参加されていた。自身の健康状態を知り、今後の健康管理、介護予防、健康寿命を伸ばす取り組みにつながっていると感じる。	地域の企業やお店の協力が地域活性に繋がり、企業やお店にとっても地域貢献活動になる。この企画は、地域の企業やお店の協力が不可欠であり、今後も地域づくりの視点で地域を繋げていく必要がある。	市の事業への理解と協力について話し合い、官民連携による取組を実施するとともに、地域住民の活動とのマッチングやコーディネートを行う。
44	地域福祉課	SOMPOケアラヴィーレ上福岡	事業者	事業協力	生活困窮者自立相談支援事業 生活困窮者支援等のための地域づくり事業	地域コミュニティを形成する居場所づくり、多様な担い手が連携する仕組みづくりを行うことを通じて、身近な地域における共助の取組を活性化させ、地域福祉の推進を図る。	困窮世帯に向けたフードパントリーを実施するとともに、地域の子ども・高齢者・ひきこもり当事者などの居場所や社会参加につながる取り組みとして実施する。今回は、リュース制服展示会&こどもカフェを同時開催し、学生服の試着や管理にボランティアとして協力いただき実施する。	パントリー参加世帯：21世帯	スタッフとしてポッチャやパントリーに協力していただいた。	地域の企業やお店の協力が地域活性に繋がり、企業やお店にとっても地域貢献活動になる。この企画は、地域の企業やお店の協力が不可欠であり、今後も地域づくりの視点で地域を繋げていく必要がある。	市の事業への理解と協力について話し合い、官民連携による取組を実施するとともに、地域住民の活動とのマッチングやコーディネートを行う。

【令和5年度】協働事業に関する調査

No.	協働事業実施者			協働事業の概要				協働事業の実績	協働事業の評価	協働事業の今後の取組	
	部署名	相手方	種類	形態	事業名	目的	事業概要	実績・効果・参加者数等	相手方の意見・評価	課題	取組
45	地域福祉課	文京学院大学	協定締結先	事業協力	生活困窮者自立相談支援事業	経済的困窮や地域社会からの孤立、その他の生活上の諸問題を複合的に抱える市民に対して、多機関が相互に連携し、包括的に受け止めるための相談支援体制の構築を図る。	生活困窮者包括化推進会議を開催し、行政各相談窓口、専門相談支援機関、事業所、関係機関等の相談支援スキルアップのための研修会を実施し、講師を依頼。1回目：「面談時等の相談対応における視点」2回目：「多機関・多職種連携」	開催回数：年2回 延参加人数：82人	市内の相談支援体制の向上を目指し、大学の教育機関としての連携を図ることができた。	大学の専門性と市の事業のニーズのマッチングについて、大学との懇談を重ね、更なる協力体制の強化を図る。	大学の教育機関としてのノウハウを活用した協力体制を今後も継続していく。
46	地域福祉課	りそな会 埼玉りそな銀行上福岡支店 埼玉りそな銀行ふじみ野支店 近藤建設株式会社 鈴兼米穀株式会社 有限会社日井物産 有限会社藍屋 有限会社船津倉庫	協定締結先 事業者	事業協力	生活困窮者自立相談支援事業 生活困窮者支援等のための地域づくり事業	生活困窮世帯や子どもの生活・育成環境を整備するための支援体制や地域活動の推進を図る。	地域で活動する子ども食堂や子どもの居場所づくりを実施している民間団体との連携を図り、食料品等の寄付品の調整を行う。	寄付品 ・日用品等309点 ・米100kg ・サツマイモ等の野菜205kg ・そば粉120kg を子ども食堂等に配布	りそな銀行が市内及び近隣の企業に呼び掛けを行い、今回の寄付に至った。	野菜等の生鮮食品は消費期間が限られており、開催頻度が少ない子ども食堂側のニーズとの調整に困難があった。	今後も寄付等の申し出があった場合は、市の事業や民間団体の活動について理解いただき、寄付者の意向に沿った有効活用をしていく。
47	地域福祉課	文京学院大学	協定締結先	事業協力	生活困窮者自立相談支援事業 生活困窮者支援等のための地域づくり事業	すべての人が住み慣れた地域で過ごすことができるよう、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に作っていく地域共生社会の実現を目指す。そのために必要な周知、普及啓発、人材育成等の推進を図る。	地域共生社会の実現を目指す地域づくり事業において、地域活動を実践する団体の活動発表でのシンポジウムに講師として協力いただく。	シンポジウム活動発表団体：5団体 参加者：84人	市内の地域活動の発展を目指し、大学の教育機関としての連携を図ることができた。	大学の専門性と市の事業のニーズのマッチングについて、大学との懇談を重ね、更なる協力体制の強化を図る。	大学の教育機関としてのノウハウを活用した協力体制を今後も継続していく。
48	地域福祉課	東武トップツアーズ	事業者	事業協力	生活困窮者自立相談支援事業 生活困窮者支援等のための地域づくり事業	貧困の連鎖を防止するため、生活困窮世帯の子どもに対する学習支援及び保護者も含めた生活習慣・育成環境の改善に関する支援を推進する。	子どもの学習・生活支援事業の利用者及びフードパントリーや地域交流会に参加した子どもへの支援を行う。	寄付品	事業の趣旨を理解いただき、困窮世帯への協力をいただいた。	地域の企業やお店の協力が地域活性に繋がり、企業やお店にとっても地域貢献活動になる。今後も地域づくりの視点で地域を繋げていく必要がある。	市の事業への理解と協力について話し合い、官民連携による取組を実施するとともに、地域住民の活動とのマッチングやコーディネートを行う。
49	地域福祉課	ねぼけ堂	事業者	事業協力	生活困窮者自立相談支援事業 生活困窮者支援等のための地域づくり事業	地域コミュニティを形成する居場所づくり、多様な担い手が連携する仕組みづくりを行うことを通じて、身近な地域における共助の取組を活性化させ、地域福祉の推進を図る。	困窮世帯に向けたフードパントリーを実施するとともに、地域の子ども・高齢者・ひきこもり当事者などの居場所や社会参加につながる取り組みとして実施。今回は、リユース制服展示会&こどもカフェ及び地域交流会を同時開催し、相談窓口の案内の周知を実施する。	寄付品	事業の趣旨を理解いただき、困窮世帯への協力をいただいた。	地域の企業やお店の協力が地域活性に繋がり、企業やお店にとっても地域貢献活動になる。今後も地域づくりの視点で地域を繋げていく必要がある。	市の事業への理解と協力について話し合い、官民連携による取組を実施するとともに、地域住民の活動とのマッチングやコーディネートを行う。
50	地域福祉課	文京学院大学	協定締結先	事業協力	生活困窮者支援等のための地域づくり事業	包括連携協定を締結している大学との協力体制を構築することにより、地域福祉行政の推進を図り、地域共生社会の実現を目指した地域づくりの一助とする。	文京学院大学人間学部人間福祉学科における授業「キャリアデザイン演習Ⅱ」講師の受託。	地域福祉課福祉総合支援チーム大川リーダーによる講義を実施	大学の教育活動に協力することで、大学との連携体制の強化、学生ボランティアの呼びかけ及び将来的な人材育成に寄与することができた。	大学がもつ専門性や学生のマンパワーと市の事業が相乗的に作用し活用できるよう、大学との懇談を重ね、更なる協力体制の強化を図る。	今後も大学の教育活動への参加を通して、市の事業に対する学生の理解を広めるとともに、大学との協力体制を継続していく。
51	障がい福祉課	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	協定締結先	事業協力	ユニバーサルマナー研修	改正障害者差別解消法の施行を受け、市職員、指定管理者及び窓口委託職員を対象に改めて業務の中での障がい者に対する接し方を学ぶ。	研修開催	参加職員42人		特になし	今後も必要に応じて職員向けの研修の実施や周知啓発に努める
52	障がい福祉課	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	協定締結先	事業協力	障害者週間推進事業「第28回ふれあい広場」	障がいの有無に関わらず誰もが交流できる場をつくるとともに、障がいや障がいのある人に対する理解の促進を図ることにより、障がいのある人が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高める。	講演会、イベントステージ、体験・展示・販売ブース	来場者数667人		特になし	令和6年度も実施予定
53	高齢福祉課	イオンタウンふじみ野	事業者	事業協力	認知症啓発キャンペーン	認知症について広く周知するとともに、正しい理解を促進し、地域で見守る支援ネットワークを構築する。	「世界アルツハイマーデー」に合わせて認知症啓発イベントを実施する。	令和5年9月27日（水）午前11時から午後5時まで 来場者 269人	事業者の社会貢献及び店舗スペースの有効活用、集客につながっている。	当日参加者は増加したが、事前予約者の数が少なかった。	早い段階で広報及びホームページにて周知を行うとともに、関係機関にチラシを送付し周知を図る。
54	高齢福祉課	高崎健康福祉大学	その他	事業協力	高崎健康福祉大学 健康福祉学部 社会福祉学科（ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ）	福祉事務所としての役割について説明し、現場経験等を含めて理解を深める。	高崎健康福祉大学 健康福祉学部 社会福祉学科の学生を対象に、90分の授業にてふじみ野市福祉事務所の業務について紹介を行い、ソーシャルワークについての実態について説明を行う。	令和5年12月13日（水）午後1時～2時30分 参加者 75人	ソーシャルワークの実態について学ぶことで実際に就職した際のイメージを事前に行うことができる。	実際に講義を聞いた学生がその後の就職活動にどのような影響が出たのかが不明。	福祉の専門職を目指す学生向けの授業であり、今後も継続的に実施することでふじみ野市の職員として活躍できる人材の発掘を目指す。
55	高齢福祉課	TJUP地域交流委員会	その他	事業協力	TJUP地域交流委員会公開講座	埼玉県の東武東上線沿線及び西武線沿線の大学、自治体、企業が連携し、地元で生まれ、育ち・生きて逝く若い世代の支援を行う。	介護予防に関する重要性・体操の実演、食生活等に関しての公開講座の開催	令和5年9月30日（土）午後2時～4時 会場参加者 34人 会場と他自治体会場をオンラインでつないで実施	大学生を中心とした介護予防の企画に高齢者が参加し、多世代交流が図れた。	TJUP地域交流委員会の企画と介護予防センターの多世代交流事業として実施できる内容とのマッチング。	実施内容が介護予防センターの多世代交流事業にあたる場合は協力実施。
56	高齢福祉課	文京学院大学	協定締結先	事業協力	文京学院大学人間福祉学科（公務員対策特講の授業）	公務員を目指す学生向けに、本市福祉事務所等で実施している各福祉業務についての理解を深める。	文京学院大学人間福祉学科の学生を対象に、「福祉事務所の業務、公務員のやりがい、公務員になるには」について説明を行う。	令和6年1月16日（火）午後1時10分～2時40分 参加者 20人	公務員の働き方、やりがいについて学ぶことで実際に就職した際のイメージを事前に行うことができる。	授業後の事後コメントを学生からもらい、考え方にどのような変化があったのかを確認する。	
57	高齢福祉課	文京学院大学ソフトバンク（株）	協定締結先 事業者	事業協力	スマホ教室	産官学協働の取組として、企業は社会貢献、大学は企業及び高齢者との交流、市は多世代交流を目的とする。	高齢者向けのスマホ教室を実施。ソフトバンク職員が講師となり、学生がスマホ操作及び講師補助を行うとともに高齢者との交流を図る。	①令和5年9月9日（土）午後1時30分～4時 参加者 38人 ②令和5年12月2日（土）午後1時30分～4時 参加者 35人	大学生を中心としたスマホ教室に高齢者が参加し、多世代交流が図れた。	産官学のそれぞれの目的や展望がうまくマッチングできないと継続できない。	大学や企業から事業協力依頼があった場合は、会場提供や参加者募集等で協力して事業展開が可能。
58	保健センター	女子栄養大学	協定締結先	事業協力	食育推進に関わる栄養士庁内連絡会議	本市の食育推進のため、庁内の栄養士の連携を図る。	「ふじみ野元気・健康プラン」に基づき、本市の食育を推進するにあたって、市民の食をめぐる現状と課題等を把握し、庁内の栄養士が連携しあって取り組みを検討する。	開催回数：2回 ・令和5年7月27日（木）午後2時30分～4時30分 ・令和6年3月12日（火）午後2時30分～4時30分	庁内の各栄養士の事業概要などの情報共有を実施できた。また、第2期ふじみ野元気・健康プランの策定に向けて、食育分野の課題やプラン内容について検討する機会となった。	第2期ふじみ野元気・健康プランを推進するために、今後も協定を活用し、食育の具体的かつ効果的な取り組みを検討していく必要がある。	今後も定期的に会議を実施していく。

【令和５年度】協働事業に関する調査

No.	協働事業実施者			協働事業の概要				協働事業の実績	協働事業の評価	協働事業の今後の取組	
	部署名	相手方	種類	形態	事業名	目的	事業概要	実績・効果・参加者数等	相手方の意見・評価	課題	取組
59	保健センター	文京学院大学	協定締結先	事業協力	心理学専門演習Ⅰ	保健行政の周知啓発や専門相談におけるアセスメント・支援技術の講義を行うことで、地域で支え合う社会の維持発展や人材育成に資する。	保健センター常勤臨床心理士が、大学にて以下の内容の講義を行う。 ・保健行政の説明 ・心理士の業務内容 ・架空事例を用いたレビュー ・ゲートキーパー養成研修（抜粋） ・引きこもり支援	講義テーマ：行政における地域精神保健福祉～保健センター心理士の視点から～日時：令和5年7月14日（金）午前10時50分～12時20分参加者：18人（学部生10人、院生6人、職員1人、教授1人）	講義後のアンケートでは「保健所や保健センターの役割がわかった」「身近なところに心理士がいることがわかった」「自殺予防や引きこもり支援の具体的な話が聞けた」など、好評な意見が多く、次年度も実施を打診された。	普及啓発事業の効果には、参加者のモチベーションや目的意識の高さが深く関係している。令和4年度の実省を活かし、疑似面談などの体験学習を含んだ内容を追加したことが良い評価につながった。今後も、参加者の動機付けを高める内容や方法を検討していく。	今後も実施していく。
60	建築課	ふじみ野市資源リサイクル協同組合	協定締結先（独自）	事業協力	空家対策事業	ふじみ野市とふじみ野市資源リサイクル協同組合が相互に連携、協力し、空き家等の管理業務を実施することにより、空き家等が管理不全な状態になることを防止する。	市は空家所有者からの依頼を受け、ふじみ野市資源リサイクル協同組合へ空家等の敷地内にある残置物の処理及び処分、樹木の剪定、伐採、除草などの業務を取り次ぐ。また、市はそれらの業務についてチラシ配布や市報掲載などにより広く周知する。	令和5年度 取次ぎ件数30件 空家敷地の選定・除草等の業務を広く周知するため、市報掲載及びチラシ配布を実施した。		空家所有者は市外に居住していることが多いため、市民向けの市報や市のホームページだけでは周知の効果が十分得られない。	空家所有者への適正管理の助言文書を送付する際に業務案内のチラシを同封し、利用を促す。
61	建築課	入間東部シルバー人材センター	その他	事業協力	空家対策事業	ふじみ野市と入間東部シルバー人材センターが相互に連携、協力し、空き家等の管理業務を実施することにより、空き家等が管理不全な状態になることを防止する。	市は空家所有者からの依頼を受け、入間東部シルバー人材センターへ空家の見回り、樹木の剪定、伐採、除草などの業務を取り次ぐ。また、市はそれらの業務についてチラシ配布や市報掲載などにより広く周知する。	令和5年度 取次ぎ件数5件 空家敷地の選定・除草等の業務を広く周知するため、市報掲載及びチラシ配布を実施した。		空家所有者は市外に居住していることが多いため、市民向けの市報や市のホームページだけでは周知の効果が十分得られない。	空家所有者への適正管理の助言文書を送付する際に業務案内のチラシを同封し、利用を促す。
62	建築課	埼玉県宅地建物取引業協会埼玉西部支部	協定締結先（独自）	事業協力	空家対策事業	ふじみ野市と埼玉県宅地建物取引業協会埼玉西部支部が相互に連携、協力し、空家バンク事業を実施することにより、空家の予防及び利活用を推進する。	空家所有者が空家バンクへ登録し、広く物件情報を公開し、埼玉県宅地建物取引業協会埼玉西部支部に所属する宅建業者が媒介を行うことで空家の売買・賃貸を希望する所有者と利用者とのマッチングを図る。	令和5年度 登録件数0件 空家バンク事業を広く周知するため、市報掲載及びチラシ配布を実施した。		空家所有者は市外に居住していることが多いため、市民向けの市報や市のホームページだけでは周知の効果が十分得られない。	空家所有者への適正管理の助言文書を送付する際に業務案内のチラシを同封し、利用を促す。
63	建築課	ふじみ野市自治組織連合会	協定締結先（独自）	事業協力	空家対策事業	ふじみ野市とふじみ野市自治組織連合会が相互に連携、協力し、空家等に関する情報提供、その情報提供に基づく状況確認や所有者への指導等を実施することにより、安全かつ安心な市民の生活環境の保全を図るとともに、空家等の利活用を推進する。	市は自治組織から空家等の情報提供を受け、その空家の状況確認を行い、必要に応じ所有者へ空家の適正管理に関する助言・指導等を行う。	令和5年度 情報提供件数16件		空家は個人の財産であるため、自治組織が所有者の同意なしで適正管理することは難しい。令和4年度に実施した自治組織対象の空家対策に係るアンケート調査では、空家所有者に対する対応の難しさが多数挙げられた。	引き続き自治組織連合会から、地域の管理不全空家に関する情報提供を受け、安全かつ安心な市民の生活環境の保全を図るとともに、空家等の利活用を推進する。
64	建築課	特定非営利活動法人空家・空地管理センター	協定締結先（独自）	事業協力	空家対策事業	ふじみ野市と特定非営利活動法人空家・空地管理センターが相互に連携、協力し啓発セミナー等の開催や空家管理サービス及び空家活用相談業務等を実施することにより、空家等が管理不全な状態になることを防止し、良好な生活環境を確保する。	特定非営利活動法人空家・空地管理センターは空家管理サービス及び空家活用相談業務等を実施することにより、空家等が管理不全な状態になることを防止し、良好な生活環境を確保を行う。	令和5年7月16日にビデオセミナー及び個別相談会を実施し、ビデオセミナーは13人、個別相談は11人（9組）が参加した。（上記以外の個別相談件数 8件） 空家管理サービス等を広く周知するため、市報掲載及びチラシ配布を実施した。		空家所有者は市外に居住していることが多いため、市民向けの市報や市のホームページだけでは周知の効果が十分得られない。	空家所有者への適正管理の助言文書を送付する際に業務案内のチラシを同封し、利用を促す。
65	建築課	埼玉県宅地建物取引業協会埼玉西部支部	協定締結先（独自）	事業協力	空家対策事業	ふじみ野市と埼玉県宅地建物取引業協会埼玉西部支部が相互に連携、協力し、空家等に関する相談窓口を一本化することで、市民等からの様々な相談に対して迅速かつ適切に対応する。	埼玉県宅地建物取引業協会埼玉西部支部は空家に関する相続、権利の整理、売却・賃貸の方法、リフォーム、土地活用、解体など様々な相談に対して、窓口を1本化したワンストップ相談を行い、市は相談の取次ぎをするほか、チラシ配布や市報掲載などにより相談事業を広く周知する。	令和5年度 相談取次件数7件 ワンストップ事業を広く周知するため市報掲載及びチラシ配布を実施した。		空家所有者は市外に居住していることが多いため、市民向けの市報や市のホームページだけでは周知の効果が十分得られない。	空家所有者への適正管理の助言文書を送付する際に業務案内のチラシを同封し、利用を促す。
66	建築課	社団法人埼玉建築士会入間第一支部	協定締結先（独自）	事業協力	ふじみ野市住宅耐震化・リフォーム相談事業	ふじみ野市と社団法人埼玉建築士会入間第一支部が相互に連携、協力し、住宅耐震化・リフォーム相談事業を実施することにより、ふじみ野市内の住宅の耐震化を推進する。	住宅の耐震改修やリフォームを考えている市民に対し、月1回程度（平日）の定例相談会と年2回程度（土・日）の出前相談会を行う。	コロナの関係で延期していた相談会を令和5年11月から実施した。 令和5年度相談件数 定例相談会（11月）4件 出前相談会（2月）1件、（3月）1件		相談件数はあるものの、市の耐震診断、耐震改修の補助金申請には至っていない。	引き続き、住宅の耐震化の必要性と補助事業について、耐震・リフォーム相談会により住宅の耐震化を推進する。
67	ふじみ野市議会	文京学院大学	協定締結先	事業協力	ふじみ野市議会図書室と文京学院大学図書館との連携	「ふじみ野市議会と文京学院大学との連携に関する協定書」の締結に伴い、協定項目の一つとして大学の図書館との相互利用を行い、議会図書室の機能充実を図る。	調査、研究、教育又は学習を目的に、図書室（館）内での図書資料の閲覧、資料の貸出、図書室（館）内に設置された情報端末の利用、大学図書館内に設置された複写機の利用、参考調査、大学が設置する他の図書館からの資料の取り寄せ等の利用が可能。	令和5年度 ①議会図書室 利用者 0人 ②大学図書館 利用者 7人 （議会改革推進委員会 視察） R6年度（R6年6月26日現在） ①議会図書室 利用者 0人 ②大学図書館 利用者 0人 （資料閲覧・貸出等）	令和5年度については、評価の対象となる事業はありません。	議会図書室の整備、蔵書等の充実。	令和6年度予算に議会図書室の整備に必要な図書購入予算を措置し、現在整備を進めている。
68	学校教育課	文京学院大学	協定締結先	事業協力	教育支援事業 フレッシュサポーター活用事業	・大学生を小学校に派遣することにより、教育活動の一層の充実を図る。 ・小学校に配置された大学生は、教職員の職務について体験的に理解を深める。	小学校における社会貢献実習（週1日3時間程度、合計12回程度）	文京学院大学 6人	大学生、大学の指導教官とも教育実習の前に学校現場を体験することができ、貴重な体験となったと好意的であった。配置先の小学校においては、教育活動の充実を図ることができ、同様に好意的であった。	大学生はフレッシュサポーターを実施することで、単位を取得できる。教職員を希望している熱心な学生もいれば、少人数ではあるが単位の取得を重視した学生もいる。	大学の教授および指導主事の説明会を充実させ、どの学生も前向きに事業に参加できるようにすれば、小中学校と大学がWin-Winの成果が上がるのが考えられる。
69	学校教育課	東邦音楽大学	協定締結先	事業協力	教育支援事業 音楽鑑賞教室	市内小学校の児童に優れた音楽鑑賞の機会を提供し、情操の涵養を図る。	東邦音楽大学ウインドオーケストラによる演奏	小学校6年生及び中学校3年生を対象に実施 市内小学6年生 1,055人	大学生にとっては人前で演奏する実践的な機会となったと好意的であった。小学生においては、本格的な器楽演奏を聴くことができる貴重な場となり、同様に好意的であった。	演奏謝礼の額を上げてほしいとの要望が大学側からある。	限られた予算で実施してもらえるように交渉していく。
70	社会教育課	ほうきづくり友の会	市民団体	事業協力	文化財保護事業	ふじみ野市の地場産業であった座敷帯づくりの技術や文化を継承する。	材料となるホウキモロコシの栽培、ほうきづくり技術の研修、次世代への座敷帯づくりの技術や文化の伝承などを行う。	会員数は20人。市民対象のほうきづくり講習会を令和5年11月18日と令和6年1月27日に実施した（参加者は計19人）。前年度に引き続き、東台小学校3年生の授業として座敷ほうきの歴史の授業、ホウキモロコシ栽培・収穫、小ほうきづくりを実施した。また、さきの森小学校・大井小学校・駒西小学校でほうきづくりの授業を行った。		ほうきづくりの技術取得、友の会活動をけん引するリーダーの育成（材料づくりやほうきづくり、授業展開など活動の種類により複数の人数が必要と感じている。）	リーダーとして活躍できる場面を意識的に作っていく。

【令和５年度】協働事業に関する調査

No.	協働事業実施者			協働事業の概要				協働事業の実績	協働事業の評価	協働事業の今後の取組	
	部署名	相手方	種類	形態	事業名	目的	事業概要	実績・効果・参加者数等	相手方の意見・評価	課題	取組
71	社会教育課	資料館・文化財ボランティア 権現山くらぶ	市民団体	事業協力	権現山古墳群保存活用事業	県指定史跡「権現山古墳群」の保全・活用を図る。	清掃・除草・樹木剪定等の保存管理や体験学習・観察会等の活用事業を実施する。	令和5年8月3日に「権現山探検 土の中のいきものをさがそう」（参加者10人）を実施した。令和5年4月22日に「新河岸川周辺の文化財と地形散策」を実施した。どちらの事業も、ボランティアの協力を得て実施した。		ナラ枯れの伐採や園路木柵修繕による閉鎖、ボランティアの高齢化もあり権現山くらぶの活動が十分にできなかった。権現山の整備を計画していく中で、ボランティアの募集・育成や継続的な活動についての検討、ボランティアへの新規加入の促進を進めていきたい。	資料館・文化財ボランティアについては、月1回定例会を開催しているが、権現山くらぶについても、意見交換をする機会を増やしていく。ボランティアと協働した事業の展開と周知の方法についての他の事例など参考にしながら検討する。
72	社会教育課	やさしい日本語でめぐるツアーガイド	市民団体	事業協力	やさしい日本語でめぐるツアーガイド事業	「やさしい日本語」を使って、ふじみ野市の歴史や文化財、観光などについて、より多くの人に伝える。	令和4年度に実施した「やさしい日本語でめぐるツアーガイド養成講座」（令和4年9～11月全7回講座）の受講修了者が企画・運営し、在住外国人を対象に、「やさしい日本語」で説明しながら、市内のまちなさんぽや体験学習などを行う。	やさしい日本語でめぐるツアーガイド養成講座受講修了者26人のうち、12人が活動を継続した。毎月の定例会で事業の企画・運営などについて話し合いをした。令和5年度は在住外国人向けのツアーを2回実施した。（参加者数25人）また、研修会1回とにほんこカフェ1回を実施した。		継続的な活動が出来るように、支援をしていく。ガイドボランティアとしての組織を構築するかどうか検討していく必要がある。	在住外国人を対象にした「やさしい日本語でめぐるまちなさんぽ事業」の企画・運営（年2回）、「にほんこカフェ」の開催（年9回程度）を行う。
73	社会教育課	文京学院大学	協定締結先	事業協力	地域学校協働活動推進事業（放課後子ども教室）	放課後における子どもたちの安全安心な居場所を提供し、様々な体験、交流、学習等の活動の機会を提供する。	学習時間、外遊び、工作、季節の催し	令和5年度については、11校にて1学期より通年開催で行った。文京学院大学との連携については、大学の「地域と学校」の授業の演習として、1学期に9校（各校2～4回）、2学期に5校（各校2回）学生が参加した。2学期は学生が主体となってイベントの企画・運営を行い、児童や指導員との交流を行った。		大学生にイベントに参加していただいたことで、放課後子ども教室に参加する児童にとって、新たな新鮮な経験をすることができ、現場の指導員からも大変好評であった。今後単発的な交流に留まらず、継続・拡大していくことが望まれる。	令和6年度については継続して大学生が活動に参加していただけるよう、学校との調整を進めていく。内容についても、より学生が主体となって放課後の子どもたちの安心・安全な居場所づくりに地域の力として関わることができるよう検討していく。
74	社会教育課	資料館友の会 機織り部会	市民団体	事業協力	文化財保護事業	ふじみ野市の地場産業であった座敷簀づくりの技術や文化を継承する。地場産業であった機織りの技術や文化を継承する。	機織の見本帳から織物を再現。機織技術や染色の研修、技術や文化の伝承を行う。	市民対象の機織体験を福岡河岸記念館で令和5年7月8日、8月19日、9月7日に実施した（参加者数21人）。		新規入会者の加入を増やし、会の技術継承を計っていく必要がある。	体験学習により入会者の増加を見込む。
75	社会教育課	伝統工芸研究会	市民団体	事業協力	文化財保護事業	伝統工芸の水引に関する技術や文化を継承する。	水引の技術の研修。	市民対象の水引体験を12月24日、2月25日に実施した（参加者数21人）。		新規入会者の加入を増やし、会の技術継承を計っていく必要がある。	体験学習により入会者の増加を見込む。
76	社会教育課	文京学院大学	協定締結先	事業協力	文化財保護事業	若い世代へ歴史を語り継いでいくこと、世代の異なる参加者同士の学び合いから参加者が新たなまちづくりへのヒントを得る機会とする。	文京学院大学まちづくり研究センターふじみ野と共催し、市の歴史や文化財を若い世代へ継承していくための事業を実施する。	連続企画「旧軍用地の軌跡をたどる～まちの記憶・記録と郊外のまちづくり～」と題し、令和5年10月7日にまちあるき企画「旧造兵廠（火工廠）をあらく、みる、きく」（参加者11人）、令和5年11月19日に公開研究会「旧軍用地とその転用から見る郊外社会」（参加者10名）を実施した。		より多くの方に事業に参加してもらうための周知方法や募集方法について、工夫・検討が必要である。	継続して事業を実施することで定着させる。
77	市民総合相談室	ふじみ野市男女共同参画をすすめる市民の会	市民団体	委託	令和5年度ふじみ野市男女共同参画のまちづくり委託事業	男女共同参画に関する市民の認識と理解を深めるための啓発事業を市民団体等に委託して実施することにより、市民の主体的な活動による男女共同参画社会の実現を図る。	ふじみ野市第2次男女共同参画基本計画の基本目標、主要課題に沿ったもの、又は男女共同参画社会づくり、女性活躍の推進に役立つと認められる事業で、広く市民に啓発できる事業を委託する。	◎映画会「ブレッドウィナー」 実施日：令和5年10月7日（土） 参加人数：102人 ◎ふじみ野ユースクリニック 一若者のための性と心の相談所― 実施日：令和5年11月19日（日） 参加人数：112人 男女共同参画に関する市民の認識と理解を深めるための啓発事業を実施することができた。		市で審査のうえ、採用する事業を決定するため、市民団体からは選考をクリアする事業を提案していただく必要がある。	令和6年度から「男女共同参画意識啓発事業委託」に名称変更、引き続き、市民団体等に啓発事業を委託する。
78	協働推進課	ふじみ野みらい	NPO	委託	市民大学ふじみ野	「市民の学び 地域の学び 知の好循環」を基本理念に、市民による市民のための学びの場を提供する。	市民のニーズを的確に把握し、迅速かつ柔軟性のある運営を推進するため、講座等の企画運営や市民大学ふじみ野の事務局運営を委託形式により行っている。 ※学長は文京学院大学木村浩則教授に務めていただいている。	【成果】 市民ニーズに合った講座を提供でき、「知の好循環」の一助を図れたと考えられる。 【実施講座数及び参加者数】 ①レギュラー講座 ・前期：8講座(受講者83人) ・後期：7講座(受講者72人) ②特別公開講座（文京学院大学） ・1講座（受講者16人） ③特別公開講座 ・1講座（受講者125人）	受講者の満足度が高い講座が実施できている。	カリキュラムの固定化	学び合い講座の講師募集を行い、多種多様な講座展開に努める。
79	文化・スポーツ振興課	団体	その他	委託	文化芸術企画提案型委託事業（ステラ・イースト及びウェストホール活用事業）	市で活動するアーティストの質の向上を図るとともに、身近な地域で広く市民が多様な文化芸術に親しむ機会を創り出すことで、市民の文化芸術事業に対する参加意識向上、市の魅力発信、新たな人材の発掘、担い手の確保へつなげる。	音楽、演劇、舞踊、伝統芸能等をホールで実演する事業を公募し、選定委員会により選定された団体・個人を受託者として実施する。	3団体へ事業を委託し、コンサートやアウトリーチ活動、ワークショップを実施し延べ2,758人が来場した。	地域で本格的な演奏を届けられることができ、お客様からも好評だった。子どもたちに音楽の楽しさを体験してもらうことができ、継続して活動が続けていきたい。	事業者への評価や事業効果を踏まえ、文化振興審議会において事業の在り方や募集・選定基準について検討していく必要がある。	募集要項の見直しを行い、継続して事業を実施する。
80	文化・スポーツ振興課	団体 個人	その他	委託	文化芸術企画提案型委託事業（アートに触れようプロジェクト）	身近な地域で広く市民が多様なアートに親しみ交流する機会をつくり、多様な市民の交流やふじみ野市の魅力を発信する事業の開催を通じ、地域の活性化や地域文化の向上を図る。	文化芸術法第8条から第14条までに規定する文化芸術に関するワークショップ事業を公募し、選定委員会により選定された団体・個人を受託者として実施する。	6団体・個人へ事業を委託し、ワークショップを実施し延べ201人が来場した。	参加者から次回開催の要望をいただくなど反響がおおきく、事業を実施してよかった。	事業者への評価や事業効果を踏まえ、文化振興審議会において事業の在り方や募集・選定基準について検討していく必要がある。	募集要項の見直しを行い、継続して事業を実施する。
81	文化・スポーツ振興課	団体 個人	その他	委託	文化芸術企画提案型委託事業（街中に音色が響くプロジェクト）	身近な地域で気軽に聴ける演奏会に親しむ機会とするとともに、多様な市民の交流やふじみ野市の魅力を創出し、地域の活性化や地域文化の発展を図る。	音楽、演劇、舞踊、伝統芸能等のまちかど・ロビーコンサート事業を公募し、選定委員会により選定された団体・個人を受託者として実施する。	8団体・個人へ事業を委託し、さまざまな場所でコンサートを実施し延べ491人が来場した。	身近な場所でコンサートを開催することで、ふだん生演奏を聞く機会の少ない人にも来場いただき、演奏を楽しんでいた。	事業者への評価や事業効果を踏まえ、文化振興審議会において事業の在り方や募集・選定基準について検討していく必要がある。	募集要項の見直しを行い、継続して事業を実施する。
82	文化・スポーツ振興課	日本環境マネジメント株式会社、ふじみ野市文化協会	その他	委託	ふじみ野市文化芸術活動地域支援事業業務委託	文化芸術を生活の中に取り入れる契機とすることにより、小中学生が継続して文化芸術活動を行うきっかけづくりとする。	小中学生を対象に身近な地域で質の高い多様な文化芸術活動の機会を提供する。	公共施設を活用し9コース全59回開催し、述べ280人が参加した。		児童・生徒のニーズに沿った事業を展開できるよう、事業の在り方について検討していく必要がある。	R6年度は公共施設のほか各中学校へ赴いて事業を展開する。

【令和５年度】協働事業に関する調査

No.	協働事業実施者			協働事業の概要				協働事業の実績	協働事業の評価	協働事業の今後の取組	
	部署名	相手方	種類	形態	事業名	目的	事業概要	実績・効果・参加者数等	相手方の意見・評価	課題	取組
83	子育て支援課	ふじみ野市学童保育の会	NPO	委託	ふじみ野市子育てサロン事業	乳幼児を子育て中の親子が気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で語り合い、子育てに関する相談、情報提供などを行う子育て支援拠点を設置することで保護者の孤立感や不安感を緩和し、地域の子育て家庭に対する育児支援をすることを目的とする。	乳幼児を子育て中の家庭の交流、子育てに関する相談の実施、地域の子育て関連情報の提供、子育てに関する講習の実施	子育てサロン周辺の地域から徒歩で利用できる利便性があり、親子交流や職員に子育て相談ができるなど、親子でゆったりと過ごす場として定着している。利用者総数は、第2轄ヶ丘子育てサロン1,062人（大人：469人、子ども593人）東原子育てサロン844人（大人：372人、子ども472人）	自宅から徒歩で利用できる子育て施設があり、とても助かっているという声や、職員に相談もできることで悩みや不安の軽減に繋がっているという声など、乳幼児親子にとって必要な施設として今後も事業を実施していきたい。また、ホームページの更新を行うなど周知活動に取り組んだが、令和4年度に比べ利用者の減少があった。引き続き周知活動に取り組んでいきたい。	市報掲載、赤ちゃん学級、乳幼児健康診査（4か月健診）、はじめてコンシェルジュ事業にて子育てパンフレットの配布、子育て情報配信メール等を活用し周知を行っているが、利用に至らない乳幼児親子が多い。	引き続き、子育てパンフレットや子育て情報配信メール、市報等を活用し、市内乳幼児親子への子育てサロンの周知を行っていく。
84	子育て支援課	シダックス大新東 ヒューマンサービス株式会社	事業者	委託	ふじみ野市子育てサロン事業	乳幼児を子育て中の親子が気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で語り合い、子育てに関する相談、情報提供などを行う子育て支援拠点を設置することで保護者の孤立感や不安感を緩和し、地域の子育て家庭に対する育児支援をする。	乳幼児を子育て中の家庭の交流、子育てに関する相談の実施、地域の子育て関連情報の提供、子育てに関する講習の実施	子育てサロン周辺の地域から徒歩で利用できる利便性があり、親子交流や職員に子育て相談ができるなど、親子でゆったりと過ごす場として定着している。利用者総数は、駒西子育てサロン1,897人（大人：918人、子ども979人）	自宅から徒歩で利用できる子育て施設があり、とても助かっているという声や、職員に相談もできることで悩みや不安の軽減に繋がっているという声など、乳幼児親子にとって必要な施設として今後も事業を実施していきたい。開設時間には横断幕やのぼりを設置し、施設のPR活動を実施したが、令和4年度に比べ利用者の減少があった。引き続き周知活動に取り組んでいきたい。	市報掲載、赤ちゃん学級、乳幼児健康診査（4か月健診）、はじめてコンシェルジュ事業にて子育てパンフレットの配布、子育て情報配信メール等を活用し周知を行っているが、利用に至らない乳幼児親子が多い。	引き続き、子育てパンフレットや子育て情報配信メール、市報等を活用し、市内乳幼児親子への子育てサロンの周知を行っていく。
85	社会教育課	ふじみ野市人権教育推進協議会	その他	委託	人権教育・平和推進事業	ふじみ野市における人権教育の円滑な推進を図り、差別や偏見のない人権尊重のまちづくりに寄与する。	人権教育研修会、親子映画会、人権教育講演会・公演劇、啓発活動	・7月 人権教育研修会「『食』を通じてつながる～子ども食堂の取組から～」参加者45人 ・7月 人権教育親子映画会（リメンバー・ミー）参加者297人 ・12月 人権週間啓発キャンペーン（啓発物資配布）配布個数300個 ・3月 人権教育研修会「かるたで学ぼう 子どもの権利条約」参加者16人		幅広い世代の方に事業に参加してもらうための周知方法や募集方法について、工夫・検討が必要である。	テーマの取り上げ方や、周知方法について検討を進めながら、誰もが人権問題について関心・意識を持つきっかけになるような事業を継続して実施していく。
86	環境課	文京学院大学	協定締結先	共催	キエーロがフエーロ	同大学心理学科永久教授と連携し、「ベランダdeキエーロ」の更なる普及を目指す。	市内飲食店「品久家」さんにもご協力をいただき、産官学連携でYoutube動画を作成	参加者：教授1人、ゼミ生10人		「ベランダdeキエーロの普及」については、学生との協同事業として一定の目標を達成したと考えられる。環境に関する新たなテーマも検討する必要がある。	令和6年度に実施する事業の内容について、学生と意見交換を実施済。現在、大学側で検討中。
87	上福岡西公民館	花と緑部会	市民団体	共催	緑のカーテン育成講座 緑の講座「ゴーヤ料理教室」	緑のカーテンの育成・栽培したゴーヤを調理することを通じて、緑のカーテンの付随効果を知ること、これを継続する動機付けとすること併せて、温暖化への環境意識を高める。	講義及び実習など（全2回）	【成果】緑のカーテンの効果や作り方、また苗を上手に作る肥料の選び方や植物の選び方、農薬散布の仕方など身近な緑化について学習した。 【参加者数】延べ参加人数：43人	環境意識の向上のためにも、今後も事業を継続していきたい。	毎回、参加者募集時に申込定員に達する場合が多いため、募集定員の増員を検討する必要がある。	参加募集については、今後も継続して、市報・Fメール・市ホームページ・チラシ・ポスター掲示等を通じて、参加募集を募っていく。
88	公園緑地課	公園等愛護会	市民団体	アダプト制度	公園等愛護会	市が管理する公園等について、地域住民で組織された公園等愛護会と協力して維持管理することにより、良好な環境づくりを目指す。	公園等愛護会が奉仕活動として公園等の除草、清掃等を実施し、その活動に対し、市が報償金を支払う。	公園等を良好な環境に保つことが出来た。新規団体の設立が2団体あったが、会員の高齢化等の理由により、解散した団体が4団体あった。	公園等を良好な環境に保つことができ、会員以外の一般市民との交流も盛んになった。	愛護会員の高齢化が進み、解散する団体が増えてきている。	新規で愛護会を設立してもらえるように呼び掛けを行う。
89	道路課	舟運・ふじみんの郷	NPO	アダプト制度	ふじみ野市河川敷地維持管理制度、彩の国川の応援団制度	活動区間の河川敷地について、野生動植物の生態系を考慮しながら、清掃美化活動及び草刈り等の活動をボランティアで行う。水辺環境の保全・育成。	団体が行う清掃などの美化活動により回収したごみの処理、活動に必要なごみ袋、手袋等を支給している。			河川愛護団体が行った清掃活動で発生した草やゴミの処分を行い、また、河川愛護団体の活動などを広報、ホームページ等に掲載し、広報啓発を行った。河川愛護団体主催で毎年11月、3月に実施されている清掃活動については、11月に団体と職員で協働して行い、3月は天候不良により中止となった。また、6月の埼玉県川越県土整備事務所主催の清掃活動には河川愛護団体、企業、行政が協働し参加協力した。	加入者の勧誘活動に力を入れる。
90	道路課	近藤建設株式会社 外8団体	事業者	アダプト制度	ふじみ野市道路サポーターズ制度	市が管理する道路において、ボランティアで清掃美化活動を行う市民団体等を道路サポーターズとして認定し、快適で美しい道路環境づくりを推進するとともに、道路美化意識の向上を図る。	市が管理する道路の清掃、除草及び刈り払い等の活動に必要なごみ袋、手袋等の支給をしている。また、作業により発生した草、ごみの回収、処分を行っている。	近藤建設株式会社は、日曜、祝日を除いた営業日に実施。 外8団体は、年間4回以上実施。		企業団体以外の市民団体の活動者の高齢化に伴う後継者不足	企業団体以外の市民団体の活動者の勧誘活動に力を入れる。